



▼国府高校の全国大会出場に貢献した澤田留衣さん



澤田選手が全国の舞台で躍動

全国高校バスケットボール選手権

令和2年12月23日（水）～29日（火）、東京体育館などで開催された第73回全国高校バスケットボール選手権（ウィンターカップ）に、澤田留衣選手（国府高校2年・有安区）が出場しました。

国府高校は浜松開誠館高校（静岡）と対戦し、62対86で残念ながら初戦敗退。センターで出場した澤田選手は、チーム最多となる20得点をマークする活躍を見せ、先手を許したチームを鼓舞しました。

澤田選手は大会を振り返って「高校に入学して初めての全国大会で緊張した場面もいくつかありました。試合を通して、自分たちのバスケットボールが全国でどのくらいやれるのかわかることができ、もっと高みを目指したいと強く思うようになりました」と回想。「今後、全国でも戦えるチームを目指して、みなさんに応援される選手になりたいです」と雪辱を誓いました。

日本消防協会が防災活動車を寄贈

消防団員等福祉共済福祉増進事業

令和2年12月16日（水）公益財団法人日本消防協会（秋本敏文会長）から甲佐町消防団（池田実団長）に防災活動車が寄贈されました。

この車両は日本消防協会消防団員等福祉共済の福祉増進事業の一環として行われているもの。

火災をはじめ、豪雨・土砂・河川等災害時は緊急車両として人員輸送や消火・救助資器材の搬送に、平常時は防火・防災の広報等に幅広く活用されます。



▲甲佐町消防団に新たに寄贈された SUV 型の防災活動車



◀左から北里護さん、入江勇さん、寺本護さん、甲斐公俊さん

竹あかりで地域を照らす

緑町区の住民有志が作製

昨年末から緑町区内に設置されている竹あかりが地域住民らの目を楽しませています。

コロナ禍の中、地域が少しでも明るい新年を迎えられたらと、同区の北里護さんが友人らと共に初めて作製。地域の協力も得ながら設置された竹あかり約30基が、商店街はずれの住宅街を優しく照らしています。

見た人から声をかけられることもあるという北里さんは「慣れない作業でしたが、仲間と楽しく取り組めました。次回はもっと華やかにできれば」と意気込みを話しました。

緑町区の竹あかりは2月初旬まで楽しめます。

地域の防災力を高めよう

中横田区自主防災会が訓練等を実施

令和2年12月20日（日）中横田集会所で防災訓練が行われました。

同訓練は、中横田区自主防災会が町や上益城消防署などの協力を得ながら実施。地域住民らが避難誘導の手順やコロナ禍での避難所運営、救護や初期消火に関する訓練などを行いました。

参加者は町くらし安全推進室の佐々木善平室長からハザードマップを活用した避難経路の確認や避難所運営の注意点など、いざという時の備えについて学びました。



▲避難所運営での感染症対策などについて話す佐々木室長



◀ナイター設備で照らされたテニスコート

ナイター設備の供用がスタート

熊本甲佐総合運動公園テニスコート

熊本甲佐総合運動公園「緑川リバーサイドパーク」（愛称・Kパークこうさ）のテニスコートでナイター照明の整備が完了し、供用が始まっています。

同公園は、町が国土交通省と連携して水辺空間を活用したまちづくりを進める「甲佐地区かわまちづくり事業」の一環で、サッカー場などを整備するものは「夜間も多くの皆さんに利用していただければ」と呼び掛けました。

同テニスコートの利用料（1時間）は1面300円（夜間照明は別途400円）（いずれも町内在住者等）です。

武道を学んで心身を鍛える

令和2年度体験学習（空手道）



▲換気のため冷たい空気が流れ込む体育館で元気に体を動かす甲佐小学校児童と講師を務めた松岡さん（右）

令和2年12月21日（月）甲佐小学校で空手道の体験学習が行われ、甲佐小学校（武永春美校長）の4年生40人が武道の教えを学びました。

この体験学習は、町教育委員会が地域住民の協力を得ながら実施するもので、武道を通して礼を学び心身を鍛えることで子どもたちの人間形成を支援することを目的に、町内の各小・中学校で例年、開催しています。

体験学習では、町内の空手道場で指導を行っている松岡勇治さん（中横田区）と霍本仁史さん（上豊内区）が児童生徒らにあいさつや礼儀の大切さなどを重んじる武道の精神について説明。その後、講師の動きを見ながら、空手の基本動作や掛け声の稽古を行いました。

指導を終えた松岡さんは、上益城農業共同組合（田原要一組合長）から提供された鉛筆やノートなどの文具を配りながら「子どもたちには文武両道を目指してほしいですね。感謝の気持ちを言葉にできるような大人に成長してもらえれば」と笑顔で話しました。